

「小さな資本家」になって、小さな自由を手に入れよう

自由になるために、私がしてきたこと

自由とは？

辞書で引くといろいろな書き方がありますが、簡単に言えば「自分の意のままにふるまえる」こと。

多分、多くの人が自由に生きたいと思っているはずですが。
ただ、何でも意のままにできるわけではありませんよね？

たとえば時間を巻き戻したいと思ってもできないし、人間から猫になりたいと思っ

てもなれません。

また、人は一人では生きていけないため、集団生活を送る中で法に触れることや、他者を不快にすることもやってはダメ。

そのため、今回、私の言う自由とは、そういった物理的・倫理的にNGな自由ではなく、「**お金で買える小さな自由**」のことです。

たとえば、

・やりたくないこと、できないことを代わりにやってみよう

↓家事代行、便利家電の導入、外食

・欲しいものを手に入れる

↓ブランド品、好きなアーティストのグッズ、家や車

・働く時間を減らす

↓出世競争からの離脱、正社員からパートへ、一時的に休職

・やりたいことに挑戦してみる

↓本当にやりたかった仕事に転職、習い事、世界一周の旅

・万が一のときの保険

↓病気や怪我で働けなくなったときの生活費、治療や介護の費用、老後年金が減っ

たときの補填

・誰かを助ける

↓大事な人の借金を返す、生活の面倒を見る、学費を払う

などなど。

私は今、この文章を旅行先の山奥で書いています。

7月も末の暑い時期ですが、標高が高く風も通って涼しいので、外で木々のざわめきや鳥や虫の声を聴きながら、どんなことを書いていこうかなあと考えているところ。

こんなふうに、ある程度まとまったお金を手に入れた今はそこまで大きく稼ぐ必要がないため、好きな時間に好きな場所で、好きなだけ好きな仕事ができるようになりました。

これが、私がお金で買った小さな自由です。

ただし、お金というのはもちろん使えばなくなってしまいますよね？
せっかく手に入れたこの自由を、一時的なものにはしたくありません。

そのため、私は私だけが働くのではなく、**お金にも一緒に働いてもらっています。**
そのおかげで、**自分の時間を消費することなくお金を得ることができているのです。**

「お金に働いてもらう」とは？

前述のように、お金で買える小さな自由はたくさんあります。

しかし、手持ちのお金を使って自由を買おうと、その代わりにお金はなくなってしまいますので、その分また働かなくてははいけません。

労働とは、自分の能力と時間を提供することですよね？

ということは、自由を買うために自分の時間という自由を売っているようなもの。

つまり、自由を売って自由を買い、また自由を売るといふ無限ループに陥ってしまったのです。

働く（自由を売る）↓働いた分使う（自由を買う）↓働く（自由を売る）↓働いた分使う（自由を買う）……↓一生労働が必要！

ただし、この無限ループから抜け出す方法があります。それこそが、自分だけが働くのではなく、お金にも働いてもらうことです。

日本は資本主義の国ですので、自分が持っている労働力もしくは資本を提供することにより、その対価としてお金を得ることができます。

そのため、「労働力の提供⇨自分が働く」から「資本の提供⇨お金が働く」に移行できれば、自分の時間を労働に消費することなく、お金を得ることができるのです。

資本って何？

事業活動を行うための元手となる資金のこと。生産の3要素（労働・土地・資本）のひとつ。

資本には、
・資本主からの出資
・企業が稼いだ利益
の2つがあり、企業はこの2つの資本と労働者の労働力を使って、生産を行っている。

お金持ちの家に生まれない限り、普通の人は、最初から資本を持っているわけではないですよ？ そのため、まずは自分で働くしかありません。

しかし、労働で得たお金をただ使うのではなく、一部を資本として企業に提供すれば、それでお金を得ることができるようになるのです。

自分が働く↓働いた分使う↓自分が働く↓働いた分使う……

←

自分が働く↓自分が働いた分の一部を資本として提供↓自分とお金働く

※最終的には、自分は働かずにお金だけに働いてもらうことも可能になる

(いわゆるFIRE)。

イメージは「小さな資本家」になること

お金を得るためには自分の「労働力」か「資本」を提供する必要があるため、資本主義下では「労働力を提供する人⇨労働者」と「資本を提供する人⇨資本家」の2種類に分けることができます。

そして、自分の時間の自由を奪われないためには、**労働者ではなく資本家になる必要がある**ということですね。

そこで私がおすすめしたいのが、「**小さな自由を手に入れられるくらいの、小さな資本家**」です。

ただし、自分がまったく働かなくても済むような大きな資本を持つには、**お金持ちの家に生まれるかビジネスで成功しない限り難しい**です。そのため、それを目指すのは現実的ではありません。

ここで私がおすすめしたいのが、「**小さな自由を手に入れられるくらいの、小さな資本家**」です。

これが実現できれば、時間の自由を奪われることなく、小さな自由を手に入れることができるようになるからです。

また、私が大きな資本家よりも小さな資本家のほうをおすすめする理由として、**社会的な立場の自由**という点もあります。

私は大学生の頃、海外留学をする費用を稼ぐべくホステスのバイトをしていたことがあります。そのときに代々の資本家の方や経営者とかかわることもありましたが、たとえば代々の資本家であれば、「自分の代で資産を減らすわけにはいかない」とい

うプレッシャーだったり、経営者であれば人格者であることを求められたり、従業員も抱えているため責任も重そうだなあと感じました。

私の人生のモットーは、

「**楽に楽しく生きる**」
です。

そのため、できる限り過度なプレッシャーや社会的地位は持ちたくないと思っています。

ですから、億万長者になりたいとか、社会的に成功したいという方には、この本の内容は参考にならないかもしれません。

一方、私のように「**今よりちょっと自由に生きたいなあ**」と思っている方には、そのヒントになるのではないかと思います。

本書では、**お金持ちでもない、投資の天才でもない、普通の人たちでも再現可能な**

資産運用のノウハウを、細かく丁寧にまとめました。

何にどのように投資すればいいの？ というところから、具体的な証券会社やおすすめ銘柄のほか、掛金の割合や額までまとめています。

投資初心者の方でもわかるように書きましたし、2024年からの新NISAでの戦略もまとめたので、新NISAではどうするか悩んでいる方にも役立つはず

です。
自由に生きるために、お金にも働いてもらおう。

本書が、この言葉にぐっときたあなたのお役に立つよう、願っています。

アラサーdeリタイア管理人 ちー

第 1 章

株式投資で「小さな資本家」を目指そう

はじめに 「小さな資本家」になって、小さな自由を手に入れよう

労働者よりも資本家のほうが有利な現実

資本家になってお金を働かせる方法

ゆる F I R E を 5 年 続 け て い る 私 の 現 状

実際に始めたら、こんなに増えました

N I S A の バ ー ジ ョ ン ア ッ プ で、資 産 形 成 が 楽 に な る

2

第 2 章

インデックス投資に勝つのは至難の業

株式投資って、何をどうしたらいいの？

資産形成期におすすめるのは、やっぱりこれ！

どこでどのように買うのがおすすめる？

48 39 36

第 3 章

結局、N I S A と i D e C o なんです

私自身、インデックス投資に負けています

私が個別株投資からインデックス投資に至るまで

私の現在のポートフォリオについて

「インデックス投資ではお金持ちになれない」はウソ

時間を味方につけて、コツコツ大きくしていこう

68 66 63 57 55

「運用益非課税」の破壊力はすごい！

億り人より、目指すは30000万円

30000万円で手に入る小さな自由

コップから溢れた分を飲んで楽しむ

30000万円なら、全額非課税でつくれます！

非課税の威力も時間とともに増していく

確定拠出年金は老後の資金準備として活用しよう

確定拠出年金は、所得税&住民税の節税効果もすごい

96 93 90 87 84 79 77 74

投資を始める前に、しておくべきこと

最初に目的を明確化しておこう
目指す順番は100万円↓1000万円↓3000万円
現在の資産状況を把握しよう
未来の収支状況を想定しよう
収入がない学生や専業主婦(夫)の場合
証券口座とクレジットカードを準備しよう
あなたに最適なのは、3つの証券会社のうちどれ？

新NISAを使った 3000万円のつくり方

2024年からの新NISAの基本
つみたて枠と成長枠、どう使い分ける？
新NISAの成長枠が「最大240万円」なのは絶妙な件

確定拠出年金を使った老後資金のつくり方

確定拠出年金が必要なのはこんな人
第1号被保険者は必ず自前年金をつくるべし
始める前に、確定拠出年金の注意点を確認しておこう
第1号被保険者のiDeCo戦略
私の3000万円全額非課税iDeCo戦略

第7章

—— こんなときどうする? 継続のコツ

投資へのモチベーションが落ちてきたらどうする?

途中で投資金額を変えたくなくなったらどうする?

途中で投資商品の見直しはしたほうがいい?

3つの布陣のリバランスはどうやる?

途中でリーマンショック級の暴落が来たらどうする?

3000万円到達直前に暴落が来たらどうする?

途中で大きなお金が必要になってしまったらどうする?

途中でインデックス型以外の投資もしたくなったらどうする?

いざというときの備えとして1000万円を目指す道

第8章

—— どうやって終わらせる? 資産運用の出口戦略

3000万円に到達したら、まず確認すべきこと

陥りがちな「貯め込みすぎ」にご注意!

使っていく順番は課税口座から

高配当株に乗り換える方法

私の今後の資産運用について

おわりに 「お金に働いてもらう」は体験してみないとわからない

第 1 章

株式投資で 「小さな資本家」を 目指そう

※本書の内容は、本文中にとくに記載がない限り、2023年10月時点の情報に基づいています。今後予告なく変更される場合もあるので、ご注意ください。

※本文中の記述は著者の分析結果に基づいており、細心の注意を払っていますが、元本や確実なリターンを保証するものではありません。本書を参考とした投資結果について、著者および本書の発行元は一切の責任を負いません。投資対象および商品の選択など、投資にかかる最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

※本書における情報はあくまで情報提供を目的としたものであり、特定の商品について推奨・勧誘を目的としたものではありません。個別の商品の詳細情報については、各金融機関に直接お問い合わせください。